


<p>項目</p>	<p>感染性胃腸炎患者等の発生について</p>
<p>配付資料</p>	<p>感染性胃腸炎患者等の発生について</p>
<p>内容及び報道に当たってのお願い</p>	<p>令和4年（2022年）1月12日（水）、北見地域保健室管内の医療機関において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。 詳細は別添のとおりです。 なお、北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課においても、本日15時00分に資料配付しております。</p> <p>※報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため、特段の御配慮をお願いします。</p> <p>(参考) 感染を防ぐために（三原則）</p> <p>1 手洗い ① 爪を短く切って、指輪や時計をはずします。 ② 石けんを十分に泡立て、ブラシなどを使用して手指や手首を洗浄します。 ③ 流水で十分すすぎます。 ④ 使い捨てタオルで手をふきます。（布タオルを再利用したり他の人と共用するのは避けましょう。）</p> <p>2 消毒・加熱処理 消毒用エタノールや逆性石けんではサポウイルスの感染力を失わせることはできませんが、次亜塩素酸ナトリウム（市販の家庭用塩素系漂白剤を希釈したもの）や加熱（85℃、1分以上）は効果があります。（調理器具、食品など）</p> <p>3 糞便や吐物の処理、汚染されたおそれがある場所の消毒 感染を広げないためには、糞便や吐物、その拭き取りに使用した物の適正な処理が非常に重要です。 ① 使い捨てのマスクと手袋を着用し、汚物中のウイルスが飛び散らないように、糞便や吐物をペーパータオルで静かに拭き取ります。 ② 糞便や吐物が付着した床等は、次亜塩素酸ナトリウムで浸すように拭き取ります。じゅうたん等にはアイロンをかけます。 ③ 拭き取りに使用したペーパータオル等は、次亜塩素酸ナトリウムを希釈したものに5分～10分浸した後、廃棄処分します。</p>
<p>担当</p>	<p>北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室（北海道北見保健所） 健康推進課長 大口 小百合 電話 0157-24-4173 FAX 0157-24-4199</p> 

感染性胃腸炎患者等の発生について

令和4年(2022年)1月12日(水) 15:00

北海道オホーツク総合振興局保健環境部北見地域保健室(北海道北見保健所)
TEL 0157-24-4173
FAX 0157-24-4199

令和4年(2022年)1月12日(水)、北見保健所管内の医療機関において、感染性胃腸炎患者及びその疑いのある者の発生を確認しました。

記

1 探知

令和4年(2022年)1月6日(木)に、北見保健所管内の医療機関から、複数の入院患者及び職員が、下痢、発熱、嘔吐等の症状を呈している旨、保健所に通報があった。

2 発生の概要

北見保健所管内の医療機関の入院患者9名及び職員11名が、1月4日(火)から1月9日(日)にかけて、下痢、発熱、おう吐等を症状を呈した。

3 現在の症状

1月12日(水)現在、症状は回復もしくは快方に向かっている。

4 経過

1月4日(火) ~ 1月9日(日) 下痢、発熱、おう吐等の有症者発生
1月6日(木) 医療機関から保健所に通報
1月4日(火) ~ 1月9日(日) 医療機関において16名の便を検査した結果、3名からノロウイルスを確認

5 感染経路

現在調査中

6 対応

北見保健所では、当該医療機関に対し、入院患者及び職員の健康状況の把握、手洗いの励行及び施設内の消毒、清潔保持等、感染防止対策について指導を行った。

7 その他

この件については、本日15時00分、北海道保健福祉部感染症対策局感染症対策課においても、資料配付を行っています。

報道に当たっては、個人のプライバシー等の保護のため特段の御配慮をお願いします。

ノロウイルスとは

ノロウイルスとは、世界中に広く分布し、急性胃腸炎の原因の一つとなるウイルスである。ノロウイルスの人への感染は、ウイルスに汚染された飲食物を口にすることや、感染者との接触等による二次感染によって起こり、主に11月から3月に集中しているが、一年を通して発生がみられる。

主症状：吐き気、おう吐、腹痛、発熱(軽度)、下痢

潜伏期間：24~48時間

経過・予後：通常3日以内で回復、予後は良好

【道内の集団感染性胃腸炎の発生状況】

1月12日(水)現在

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	2020年	2021年	2022年
件数(件)	168	190	188	148	146	67	187	2
有症者数(人)	4,031	4,671	4,454	3,019	3,010	1,354	4,217	35

*政令市(札幌市を除く)保健所分を含む。

*定点医療機関からの感染性胃腸炎患者報告数については、北海道立衛生研究所北海道感染症情報センターホームページにて公開しています。(http://www.iph.pref.hokkaido.jp/kansen/index.html)